



# 世界へのプレゼントになろう

週報

2015~2016 年度 RI 会長

K.R. “ラビ” ラビンドラン

RI 第 2730 地区ガバナー

野中 玄雄

鹿児島市内分区ガバナー補佐

内村文泰・日高文治

## 鹿児島東南ロータリークラブ

会長 飯野 和男 副会長 東 則秋 幹事 中馬敏之  
(例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10  
サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020  
(事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10  
サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622

E-Mail [info@tounanrc.jp](mailto:info@tounanrc.jp) ホームページ <http://www.tounanrc.jp/>

第 2243 回

No.10

平成 27 年 09 月 12 日 (土)

本日のプログラム 献血啓発活動

### 第 2242 回例会報告

#### 会長挨拶

会長 飯野 和男

本日は、エフエム鹿児島営業部長堂脇悟様より卓話をいただくことになってます。お忙しい中当クラブのためありがとうございます。

ガバナー補佐として興津立夫君を承認いただきありがとうございます。早速、ガバナー事務所に報告いたしました。期限がせまり当番クラブでもありましたので気もめていました。鹿児島東南クラブでは、1977 年川崎志さん、1981 年、富永勇男さん、1985 年、永里紘二さん、1993 年、宇都巖さん、2001 年、吉盛正春さん、2014 年、飯野和男と分区代理、ガバナー補佐を出しています。今回、推薦された興津立夫さんは 1996 年分区代理を経験され二度目はガバナー補佐としてご活躍願うこととなります。鹿児島市内 4 番目のクラブで 21 名のチャーターメンバーでスタートして海江田順三郎ガバナーの時、すなわち興津分区代理の時代には会員数 59 名のクラブとなっていました。現在はさびしい限りですが何とでも会員 30 名を目指して頑張りましょう。残念な報告があります。林会員より退会届が提出されました。新入会員の方々への気配りが足りなかったようで、夜の懇親会、ゴルフ等、親睦を深めていきたいと思えます。9 月 17 日に新入会員歓迎会を遅くなりましたが親睦委員会のはからいで開催しようと思えますので多数の参加をお願い致します。

#### ゲスト・ビジター紹介

(株)FMかごしま常務取締役営業部長 堂脇 悟 様

#### 会務報告

- 9 月 15 日 (火) の例会は、9 月 12 日 (土) ~13 日 (日) の献血啓発活動へ振替となっております。通常例会はございませんのでご注意ください。
- 9 月 22 日 (火) は祝日のため例会休会となっております。
- 2016 年 5 月 28 日 (土) ~6 月 1 日 (水) は韓国にて国際大会です。

#### 出席報告

会員数	26 名	前々回出席者	17 名
出席免除	2 名	メイクアップ	4 名
出席会員	15 名	出席訂正率	80.76%
出席率	62.5%		

#### スマイル報告

☆飯野和男君一本日はエフエム鹿児島堂脇悟常務取締役営業部長様より卓話をいただくことになりました。よろしくお願ひ致します。又、興津さんには市内分区ガバナー補佐をお引き受け下さりありがとうございました。



☆中馬敏之君一堂脇様、本日はようこそ東南ロータリークラブにお越しくださいました。献血イベントでは、エフエム鹿児島の今別府さんに大変お世話になっております。今週末のオーディションイベント「レイズ」ではよろしくお祈りいたします。

☆山田忠茂君一出張にて2週間休みました。公式訪問も欠席にて会長に失礼しました。

本日計 6,000 円 累計 86,000 円

**本日のプログラム** 外部卓話「西郷隆盛遣韓論の真相」  
(株)FMかごしま常務取締役営業部長 堂脇 悟 様



・西郷遣韓論とは、日本との国交を拒んでいた韓国に武力で攻め入り、国交を開かせようとする「征韓論」に対し、西郷が使節として韓国に赴き、平和裏に国交を結ぼうとする西郷平和使節派遣→遣韓論

**征韓論・高校教科書の記述**

明治6年、西郷は征韓論を主張、それでは戦争になると心配した大久保や岩倉に阻まれ下野、西南戦争に至った。

(平成19年 高校教科書地理B 山川出版)

<岩倉使節団>

明治4年11月12日から、明治6年9月13日まで約2年近く、日本から欧米に向かった総勢107名の大使節団。目的は、幕末に結ばれた不平等条約の改正交渉と西洋文明の視察。岩倉具視、大久保利通、木戸孝允、伊藤博文の薩長の大物が率いる。外遊中、条約の改正交渉は

暗礁に乗り上げ、木戸と大久保の軋轢など政治的な問題を引き起こす。

<留守政府>

岩倉大使節団が欧米訪問中、留守政府として太政大臣三条実美、参議筆頭西郷隆盛、江藤新平、板垣退助、大隈重信らが組織した。岩倉使節団との間で、政治的な大規模改革は行わないとの確約があったが、学制、徴兵令、地租改正、太陽暦の採用、司法制度の整備など積極的に改革を断行、実績を上げ、条約改正の目的を達成出来なかった岩倉使節団との間にわだかまりが生じた。

<西郷・韓国派遣問題>

南下するロシアに脅威を感じていた西郷は、自ら平和使節として朝鮮に赴き、対ロシアの日朝中の東アジア同盟を作ろうとしていた。留守政府は三条太政大臣の下、西郷使節派遣を明治6年8月17日閣議決定する。天皇に上奏するも天皇は、まもなく帰国する岩倉らの意見を聞いてから正式決定せよとの意向であった。岩倉使節団9月13日、1年10ヶ月ぶりに帰国。翌10月14日、15日正院閣議が開かれる。

・大久保・岩倉……征韓より今は国内問題が重要、延期せよ。

・西郷……自分の案は、征韓などではなく、あくまで平和交渉で国交樹立をめざすもの。外交は時間との戦い、早急に派遣を。

↓ 閣議

大久保の裏工作も甲斐なく、三条、岩倉が腰砕け、西郷派遣案→再可決

以後、岩倉、大久保、木戸に加え、伊藤博文らの巻き返しと策謀で、「西郷朝鮮使節派遣」は、天皇の勅命により、無期延期と決定。西郷、板垣、江藤ら辞任。

<明治6年政変とは>

- ①留守政府と使節団との軋轢に端を発する。
- ②司法卿 江藤新平の長州閥 井上馨、山県有朋らの汚職摘発。
- ③伊藤、木戸らの長州閥崩壊の懸念。
- ④大久保と江藤の確執。(後年、佐賀の乱で江藤斬首刑)
- ⑤大久保、木戸の土佐閥と肥後閥台頭への懸念。
- ⑥明治6年政変は、「征韓論争」ではなく、派閥抗争であった。

\*\*\*\*\*

各クラブの例会記載は今回省略しました。事務局